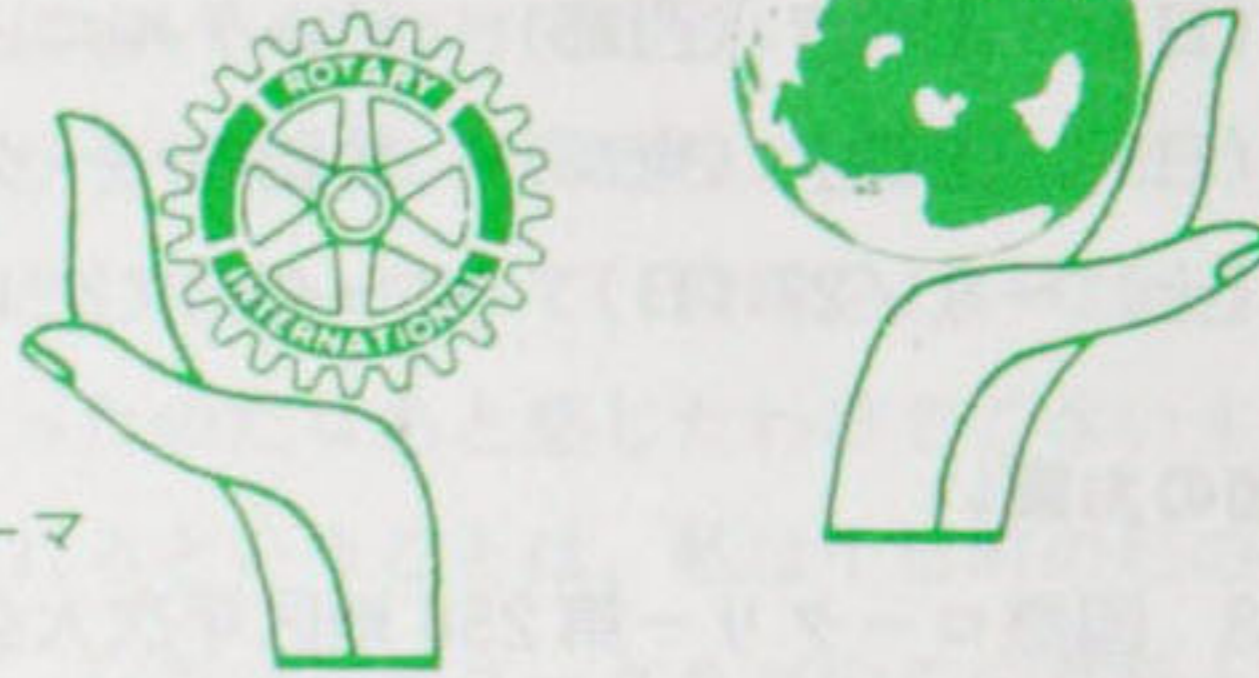


### ロータリアン—— 奉仕に結束——平和に献身

ROTARIANS——  
UNITED IN SERVICE—DEDICATED TO PEACE

1987—'88 年度国際ロータリーのテーマ



- 国際ロータリー会長 チャールズ C. ケラー ● 第 256 地区ガバナー 安藤文夫
- 会長 — 熊倉 昌平 ● 幹事 — 内山 辰策 ● S A A — 川又嘉瑞範、婦山忠家
- 例会日 — 毎週水曜日 12:30~ ● 例会場 — 三条市旭町 2-5-10 三条信用金庫本店内
- 事務局 — 三条市旭町 2-5-10 (TEL-35-3477) (TEL 34-3311)
- クラブ会報委員 — 加藤紋次郎、平原信行、池田俊一、箱崎源伸、渡辺喜彦

出席率： 会員 64名中 55名 : 先々週出席率： 93.33% (前年同期 92.54%)

今日のお花： 白リンドウ、ケイト

ヴィジター： 三条北より 樋口金占君  
三条南より 若林幸哉君

ゲスト： 三条東高等学校長 丹呉昭三殿

先週のメイクアップ： 8/16 高崎へ 交換学生選考委員会出席の為 山本福七君

8/20 新潟西へ 加藤紋次郎君

8/22~8/23 ライラ出席 高森昭光君

8/24 三条南へ 鈴木宗資君、藤田紘一君、大谷幸平君、高橋一夫君

8/25 三条北へ 野村竹三郎君、渡辺宏策君、渋谷健一君、  
堀川政雄君

会長挨拶： 熊倉会長

プロ野球の衣笠選手が 2,131 試合連続出場の世界新記録を樹て、国民栄誉賞を受けました。心、技、体が揃っていないと出来なわけですが、素晴らしい事だと思います。

衣笠選手はこの記録を達成するのに 18 年間かかっていますが、当クラブで 30 年間出席を続けておられるチャーターメンバーの方がおられます。

ロータリーは自分の本業ではありませんが、会員たる義務として例会出席を守って来られたことに敬服致します。クラブ創立当初はメイクアップをするのに大変だったと思います。仕事、

健康、その他条件がととのっていなければ出来ないことです。

30年間出席を心からお祝い申し上げ、記念品を贈らせていただくことに致しました。

**幹事報告： 内山(辰)幹事**

◦見附ロータリークラブより 現況報告書(1部)

**9月主要行事予定**

- 9/6(日) IGF(西部) 於ホテルニューオータニ長岡
- 9/20(日) IGF(東部) 於胎内パークホテル
- 9/26(土)～9/27(日) ローターアクト地区年次大会 於高崎市総合文化センター

**年次大会参加のお願い**

1987～1988 国際ロータリー第256地区年次大会

1987年10月24日(土)～25日(日) 会場 群馬音楽センター(高崎市)

(会員の皆様には今のうちから予定に入れておいておかれ、多数の出席をぜひお願いいたします)。

**会報委員会**

事業計画の一環として会員、家族、事業所の紹介コーナーをさっそく実施いたしますので、お願いにまいりました時には、快くご協力お願いいたします。又趣味、逸話などの会員、家族作品展への他薦、自薦の投稿を歓迎いたしておりますので、こちらの方も会報委員又は事務局へ提出下さるようよろしくお願いいたします。

**9月のお祝い**

- 会員誕生日 8日 高橋清見君 9日 堀川政雄君 10日 長谷川有美君  
 19日 山本恒男君 19日 外山雅也君  
 夫人誕生日 1日 野村チヨさん 4日 広瀬ケイ子さん 22日 斎藤(弘)昌子さん  
 29日 堀川栄子さん  
 結婚記念日 該当なし  
 9月の100%出席者 11年 渡辺宏策君 7年 山本福七君

**ニコニコBOX ￥52,000**



- 斎藤(権)君 皆さんの温かい友情と励ましに支えられて30年連続出席の記念品を戴きました。この後も健康に留意し、一日一日を大切に努めて参りたいと存じます。どうも有難う御座いました。
- 鈴木君 お盆休みに家族連れで出羽三山(月山、湯殿山、羽黒山)に登って来ました。霧で下界の景色は見えなかったが、2千米の頂上を極めて愉快でした。
- 五十嵐(総)君 丹呉校長より本日卓話をいただき大変ありがとうございます。

**卓話： 「交換学生を迎えて」**

新潟県立三条東高等学校 校長 丹呉昭三殿



ただいまご紹介いただきました三条東高校に勤務、縁あってここに育った子供たち、やはり私は人の出会いというものを大切にしないと行けないと、大切な子供ひとりひとりがやはり人間であるわけですから、その中にしか私は生きられないと、縁がありまして、三条東高校の校長としてこの地にまいったわけでございます。

まいりましてエミーの本校の生徒としてロータリー交換留学生として入ってきて、素晴らしいなあと、こういう時代になったのだなあと感じたわけでございます。

ロータリーの交換学生の留学生を受け入れるということは、私は十日町の私の教え子が留学生を受入れた経験を聞いておりますけれど、三条ロータリークラブのこの英断というものに対して、私は心から敬意を表するものでございます。

言葉では言えませんが、引受けるということは相当の決意が必要で、この子がホームシックにもかからないで一年間を送ることが出来たのは、なんといってもロータリークラブの皆さん、前会長の日戸さん、熊倉さん、又古沢さん、五十嵐さん、そういう人達がロータリー精神の自分を捨て、人にサービスをするその精神が花咲いてエミーがいい思い出をいっぱいにしてアメリカに帰国した。又ロータリーの皆さんが、温かい目で包んでくれたことだと思います。

最初のホームステイの梨本さんは大変だったと思います。日本語のわからない生徒を風俗、習慣全部が違う生徒を引受けるなんていうことは、私は日本人の子供を3、4日預かるだけでも大変なことでした。

一番肝心な言葉が解らないコミュニケーションをいかに苦労され、生活を共にされたかの努力が大変ではなかったかと思えます。そんな点を考えますと、次に引受けてくれた川又さんも同様ではなかったかと思えます。

エミーがたった一人で生活出来たのも皆様の温かい心で支えてくれたから、一年間であれだけ素晴らしい日本語を話せるように、又日本語で書けるようになり帰りました。そのあとで手紙が来て、日本語を忘れそうだ、だけれども三条に帰りたい。こんな言葉で礼状がまいりました。

本当にそのロータリークラブの奉仕の本当の国際性というのは、物とか金とか情報とかこんなものより、一番肝心なものは人間ではないかと思えます。私は人間の交流を通してこそ、私達は友達なんだ、皆んな同じなんだ、人間なんだ、この言葉がお互いの体験を通してこそ実感されるものではないだろうか、三条ロータリークラブに心から敬意を表します。

この地球上には47億というたくさんの人種が住んでおります。その中でどれだけの言葉があるかと申しますと、たくさんの言語があります。特に日本語なんていうのは、私は英語の担当をしておりますけれど、一番話されているのは英語です。けれど日本語ほど目に見えて情報化、国際化にむいて全世界に通用してくるのではないかと私は感じます。



それに各国の国境がなくなっていくのではないかと、各国との交流をしていかなければ日本の将来はないと思ひ、こういう時代に入っていくのではないかと思ひます。

これからは外国の人間との交流をもっと進めていかななくてはならないと、中曾根首相は7,000人の外人を日本に入れ、そして各学校に英語の教師を入れようと、これも一つの大きな前進であると思ひます。

いろいろ考えますと、これからの子供達は生きていく場合には人間との交流、物と物との損得では経済摩擦が起こっている。次に来るのは文化摩擦だと文化摩擦を今から準備して置かないと、おかしい民族が生まれてくると私は思ひます。

これから伸びていく子供達に、これから国際社会に出ていくその子供達に、少しでも外国のことを教えていくことをロータリーの皆さんと私共教師が国際性を身につけていけば、子供達に向うのエミーのような子を連れてくればと、私はエミーが東高校に入って来たことに対して生徒が外人に対する目が全然違ってきた。おなじ人間なんだなあと、泣くときも笑うときも同じ感情を持っているのだなあと、エミーも始めはとまどっていたけれど、3カ月も経つと異和感がなくなってきた。言葉じゃないんだなあと、人間は心が一番大切なんだなあと、心が通じ合えば外人という意識がなくなっている。

又、英語に対する感じが一番強まったのは、担任の教師ではなかったかと思ひます。生徒がエミーを見て、エミーが日本語がしゃべれる、日本語が書ける。私だってやれるんだと生徒が非常に認識したと、エミーが東高校に入ってもらったことが大きなプラスになった反面、教師の苦勞が大変だったことです。

ホームステイをして下さった各家庭にも教師以上に家庭教育、社会教育にと想像以上に苦勞が大変だったことと思ひます。

人に奉仕をしていくことは、そのものに精一杯ぶつかっていけば、その報いとして豊かな国際性と外国人のものの考え方とかを教えられ、又日本の風俗、習慣を強く教えていかなければ、それを早く教えていくことに、おだてながらお客様だということではとても生徒としては扱えなかった。

三条市の子供に国際性を身に付けさせていくためには、ロータリーの皆さんが、私達教師が国際交流を通して日本のことを教え、外国のことを学ばせなければいけないと思ひます。皆さんと私達が若い子供達を鍛えていこうではありませんか。三条市の為に国際性豊かな子供達を作る為に私も援助いたしますのでよろしくお願ひいたします。

---

次 週 例 会      9月2日      卓話   渡辺喜彦会員

---

次々週例会      9月9日      卓話   三条税務署 小鞠昭彦殿

---